

第1回

非がん疾患の エンドオブライフケア セミナー

日本エンドオブライフケア学会では、このたび第1回非がん疾患のエンドオブライフケアセミナーを開催することになりました。

終末期の苦痛を和らげる緩和ケアを必要とする人のうち、3人に2人は非がん疾患です。欧米では、1990年代に非がん疾患の方が苦痛に満ちた最期の時間を強いられていることが問題となって以来、非がん疾患のエンドオブライフケアの研究、教育、実践は飛躍的に発展してきました。

一方、我が国においては非がん疾患のエンドオブライフケアの研究、教育、実践は立ち遅れており、多死社会を迎えようとする今日、非がん疾患のエンドオブライフケアの確立は我が国の医療の最重要課題となっています。

そこで、現在、病棟・在宅・施設等で働く医師、看護師などの医療職が、国内外の研究で明らかになった様々なエビデンスに基づき、非がん疾患のエンドオブライフケアについての質の高い実践ができる一助になればと考え、本セミナーを企画しました。

今回、講師をお願いした先生方はそれぞれの領域において、長年この課題にとりくんできたわが国の第一人者の先生方です。

きっと明日からの皆様の実践に役に立つセミナーになると思います。

皆様のご参加をお待ちしております。



【日時】 2017年7月9日(日)10時～16時20分

【場所】 北とぴあ 13階 飛鳥ホール

(東京都北区王子1-11-1、京浜東北線王子駅、地下鉄南北線王子駅下車すぐ)

【対象】 医師・看護師等の医療職

【内容】

- 1 非がん疾患のエンドオブライフケア **総論**
- 2 **心不全**のエンドオブライフケア
- 3 **認知症の高齢者**のエンドオブライフケア
- 4 **呼吸器疾患**のエンドオブライフケア
- 5 **ALS**のエンドオブライフケア
- 6 **腎不全**のエンドオブライフケア
- 7 **非がん疾患の予後予測と意思決定支援**

【定員】 250名(定員になりしだい締切ります)

【申込み方法】2017年**3月16日**より日本エンドオブライフケア学会HP

(<http://endoflifecare.jp/>)で申し込みを開始します

【参加費】 会員 5000円、非会員 10000円

【主催】一般社団法人・日本エンドオブライフケア学会

(エンドオブライフを支える専門職の実践・教育・研究委員会)

第1回 非がん疾患のエンドオブライフケアセミナー・プログラム

テーマ	講師	内容・講師紹介
非がん疾患のエンドオブライフケア総論	平原佐斗司 梶原診療所	国内外の非がん疾患のEOLケア・緩和ケアの歴史を解説。エビデンスに基づき、非がん疾患のEOLケアの特徴を概説する。日本在宅医学会副代表理事、EOLケア学会理事。
心不全のエンドオブライフケア	弓野大 ゆみのハートクリニック	心疾患専門の在宅医療を展開。高齢者の心不全患者の治療に関するステートメント(2016年)策定委員。末期心不全の管理とEOLケアについて解説する。
認知症高齢者のエンドオブライフケア	桑田美代子 青梅慶友病院	老人看護専門看護師として、長年認知症高齢者の終末期の看護を実践。認知症高齢者の質の高いEOLケアについて看護の立場から解説する。
呼吸器疾患のエンドオブライフケア	津田徹 霧ヶ丘つだ病院	COPDがトラインの終末期ケアを担当した呼吸器疾患緩和ケア・EOLケアの第一人者。「呼吸器疾患の緩和ケア」発刊
ALSのエンドオブライフケア	萩野美恵子 北里大学医学部新世紀医療開発センター	難病中の難病といわれるALSのEOLケア・緩和ケアの第一人者。医療やケアの実際から意思決定、倫理的問題まで幅広く解説。EOLケア学会理事。
腎不全のエンドオブライフケア	三浦靖彦 東京慈恵医大附属柏病院総合診療部	透析の非導入や中止も含め、腎不全のEOLケアと倫理的問題について解説。著書に「高齢者ケアと人工透析を考える」等。
非がん疾患の予後予測と意思決定支援	平原佐斗司 梶原診療所	非がん疾患の緩和ケアを困難にしている予後予測と意思決定支援について海外のエビデンスをもとに解説。

お問い合わせは、梶原診療所 研修センター(training_center@fureaico-op.com)までご連絡ください。

第一回学術集会のご案内

一般社団法人

日本エンドオブライフケア学会
Japan Society for End-of-Life Care
第一回学術集会

2017年9月16日(土)~17日(日)

会場：一橋大学一橋講堂(東京)

テーマ **すべての人に質の高いエンドオブライフケアを!**

【会長講演】 エンドオブライフケアの質を高める視座とアプローチを探る 島内節(人間環境大学)

【シンポジウム1】 わが国におけるエンドオブライフケアをどう進めるべきか
座長 平原佐斗司
シンポジスト 蘆野吉和 秋山正子 浅見洋

【シンポジウム2】 エンドオブライフに向けた意思表明プロセス
座長 長江弘子
シンポジスト 木村利人 宇都宮宏子 湯浅美鈴

【特別講演】

- 1 我が国のエンドオブライフケアの
変革すべき課題と戦略 蘆野吉和
- 2 人生のセカンドステージの生き方と
ケアサイクル 長谷川敏彦
- 3 エンドオブライフケアと生命倫理
木村利人

【教育講演】

- 1 アメリカ合衆国におけるエンドオブ
ライフケアのシステム 朝倉由紀
- 2 エンドオブライフケア期にある患者の
意思決定支援を患者の立場から考える
山口育子

【セミナー】

高齢者のエンドオブライフケア
実践セミナー 会田薫子 平原佐斗司

【ワークショップ】

意思表明の進め方